

## Topics

### ◆地域交通の取組ご紹介／宇治市のりあい交通事業について（京都府宇治市交通政策課）

#### ■バス路線休廃止地域に対する取り組み

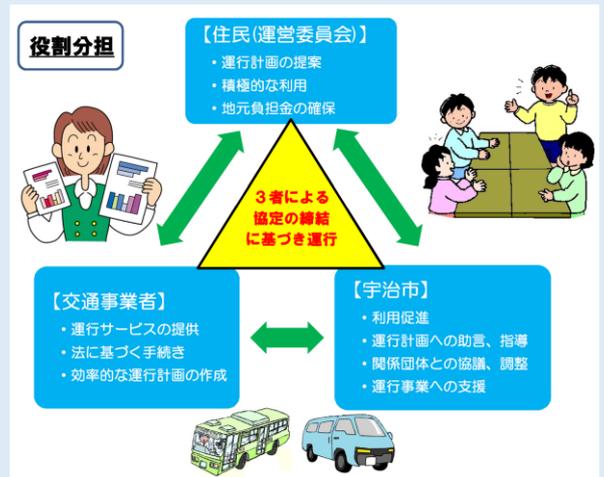
##### 「宇治市のりあい交通事業」

##### ・事業の概要

バス路線が休廃止となった地域（対象：西小倉・槇島町・明星町を含む地域）の方々が主体となり、住民、交通事業者、宇治市の役割分担により小型バスやジャンボタクシー等の新たな公共交通を運行する事業です。

##### ・主な支援内容

新たな公共交通の運行に対し、交通事業者の収支が赤字の場合、赤字額の一部を宇治市が補助します。また、新たな公共交通の利用促進に必要なチラシの印刷費の一部を補助します。



右図・下図 のりあい交通事業しおり(宇治市HP)より

#### 2. 準備段階～運行までの進め方(例)



※補助金の交付を受けようとする場合は、宇治市が別に定める要項に従って申請を行う必要があります。



# 総合交通体系グループだより

開催案内 第42回総合的交通基盤整備連絡会議

## ポストコロナの新たな経済社会を実現するための地域交通政策のあり方

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ）では、地方公共団体における総合交通関連施策の推進支援を目的として、2021年10月15日（金）に、「ポストコロナの新たな経済社会を実現するための地域交通政策のあり方」と題して表記会議をオンラインで開催いたします。

昨年以來、新型コロナウイルス感染症との厳しい戦いが続いておりますが、本会議では、**デジタル技術の積極的な活用・新たなライフスタイルを見据えた分散型の国づくり等の新たな時代への対応に向けた、地域交通政策のあり方を考える**上でのヒントを、皆様と共有できればと思います。

### 《第42回総合的交通基盤整備連絡会議》

- 開催日時：2021年10月15日（金） 13:00～16:00
- 開催方法：Zoomウェビナーを使用したオンライン開催  
※接続方法等は、参加申込された方に別途お知らせします。
- 対象：地方公共団体の職員・定員約250名（1団体につき2名まで）
- 申込方法：下記、詳細情報のリンク先をご参照ください。
- 申込期限：2021年10月6日（水）
- 詳細情報：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-u-magazine/132-2sougoukoutsu.pdf>



開催案内 専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修

## 地域モビリティに関する施策を推進するための総合的な専門知識の修得

地域における人の円滑な移動の確保（地域モビリティ）に関する施策を推進するために必要となる、総合的な専門知識の修得を図ることを目的に「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を開催します。

研修では、東京都立大学 清水哲夫教授より観光・交通ビッグデータについて、国立呉工業高等専門学校 神田佑亮教授より地域交通政策について、それぞれお話しいただくほか、茨城県つくば市よりデータを活用した地域公共交通計画策定について、岡山県久米南町よりAIデマンド交通と貨客混載事業について、愛媛県松山市よりスマートシティモデル事業について、静岡県 浜松市/株式会社モピより自動運転による超小型モビリティの公道走行について、それぞれご講義いただく予定です。

### 《専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修》

- 研修期間：2021年11月29日（月）～12月3日（金）5日間
- 研修場所：Microsoft Teamsが接続可能であれば、官署・自宅の指定は行いません。
- 募集期間：2021年10月18日（月）まで
- 詳細情報：<https://www.col.mlit.go.jp/kenshu/R03-092-031.pdf>



## ◆ 自治体の総合的な交通計画の公表情報（R3.7～R3.8）

令和3年7月1日～令和3年8月31日の間に、ウェブサイトにおいて公表された自治体の総合的な交通に係る計画です。自地域における計画策定等の参考にして頂ければ幸いです。

参考情報は

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/132-1sougoukoutsu.pdf>



## ◆ 総合交通体系グループのメンバー紹介

本メールマガジンを発行する国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ）のメンバーを紹介したいと思います。第5回は純流動調査やNITASを担当する井野主査です。今回はNITAS（ナイトス）の紹介をさせていただきます。

## ◆ 各交通機関を組み合わせることで総合的に交通体系の分析が可能です

皆様、初めまして。今年の4月に着任しました井野です。

3月までは鉄道局に所属しており、鉄道の事故・災害対応や日本の鉄道の海外展開などを行ってきました。特にインド高速鉄道事業には3年間従事しており、起工式典の出席、日印首脳会談の随行や各打合せへの出席など、計10回以上インドに出張に行きました。

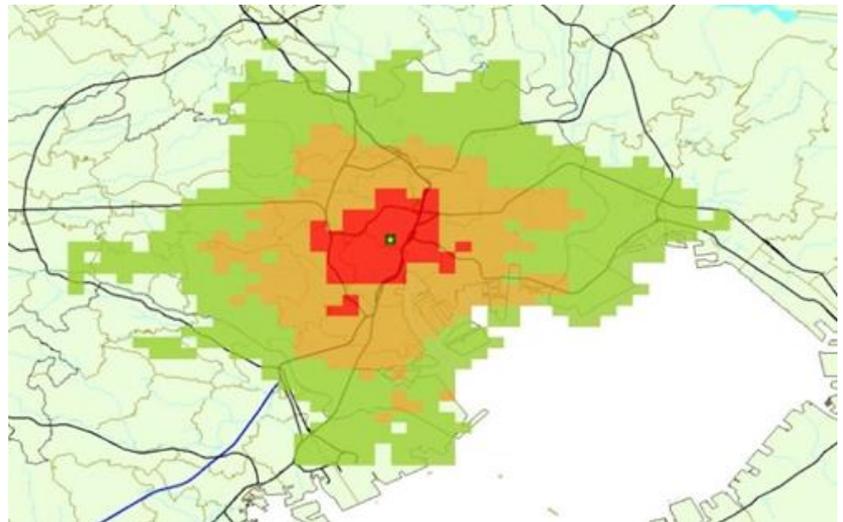
4月からは総合交通体系グループにおいて、総合交通分析システム（NITAS : National Integrated Transport Analysis System）の改修や運用、全国幹線旅客純流動調査の実施、訪日外国人流動データ（FF-Data）の作成を担当しております。



2017年日印首脳会談の  
政府関係者通行証

NITASとは、道路・鉄道・航空・船舶の各交通機関を組み合わせることで総合的に交通体系の分析を行うシステムです。全国的な視点から地方レベルの課題まで様々な問題意識に対応して、交通基盤施設の現状や整備効果等を視覚的・定量的に表現することが可能です。

いくつかNITASのアウトプット例をご紹介します。右図は首都圏における各地域（3次メッシュ中心）から国土交通省へのアクセス時間圏域図と各圏域内の人口の算出例です。NITASには人口等の統計データを収蔵しているため、この統計データと経路探索結果を用いて、ある一定条件内（例えば、起点から30分圏域内等）の人口や事業者数を算出することが可能です。各自治体においても道路整備による時間圏域の広がりなど整備効果の説明として活用できます。

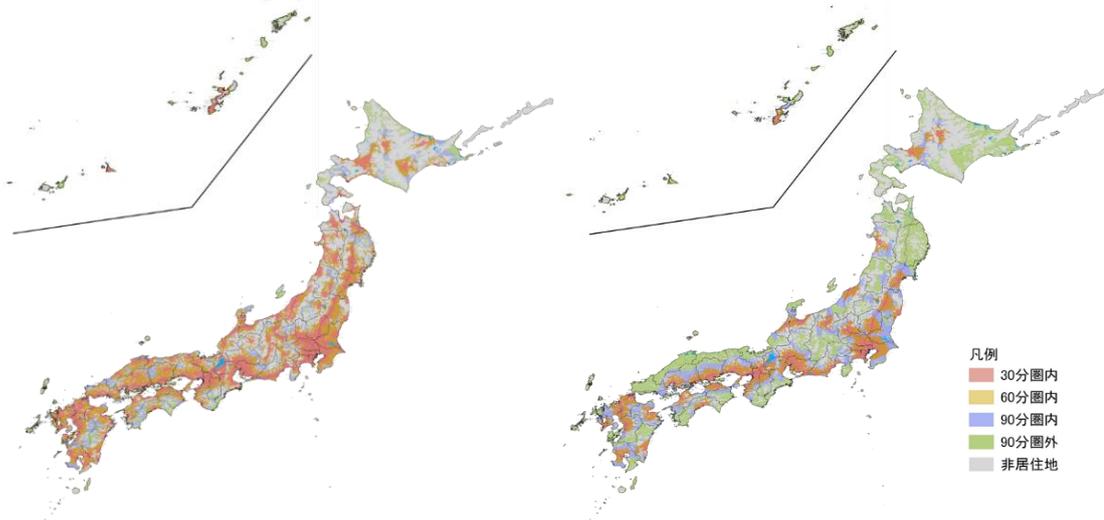


圏域	10分圏	20分圏	30分圏
人口(人)	678,300	4,635,576	10,104,082

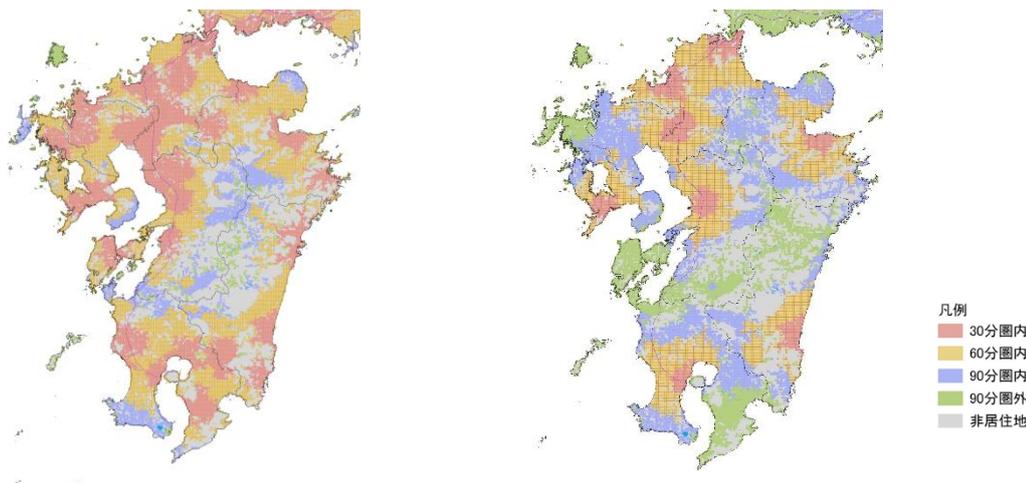
国土交通省へのアクセス時間圏域図と圏域ごとの人口分布

下右図は人口30万人以上の都市へのアクセス時間圏域図で、下左図は人口10万人以上+都市雇用圏人口5万人以上の都市へのアクセス時間圏域図です。それぞれ人口規模をもつ起点となる市の中心（市役所）から道路（高速道路を含む）を利用して到達できる時間圏域を表示しています。

### 地域生活圏の圏域シミュレーション(試行)【全国】



### 地域生活圏の圏域シミュレーション(試行)【九州】



※上記人口規模をもつ起点となる市の中心(市役所)から道路(高速道路を含む)を利用して到達できる時間圏域を表示  
(出典)総合交通分析システム(NITAS2.6)を用いて国土交通省国土政策局作成

「人口30万人以上の都市」(右)と「人口10万人以上+都市雇用圏人口5万人以上の都市」(左)へのアクセス時間圏域図

※出典：国土の長期展望委員会 最終とりまとめ(2021年6月15日) 参考資料より

NITASの機能やアウトプット例の詳細は

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_fr\\_000021.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000021.html)

に掲載しておりますので、ご興味を持たれた方はぜひご覧いただければと思います。



NITASは国の機関・地方公共団体・大学等の公的機関を対象に貸出しております。NITASの貸与等に関するご相談、操作方法等に関するお問い合わせは、

総合交通体系グループの窓口アドレス [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) までご連絡ください。

# Infomation

## ◆ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記連絡先に頂けると幸いです。

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp)

## ◆ 地域の取り組み 及び イベント案内 募集!!

当課では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することで、各地域にノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。また、イベント案内や、勉強会、講演会、セミナーなどをご紹介頂ければ、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方でも、耳より情報でも結構です。（情報提供はこちらまで [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp)）

### 【情報提供頂く内容】

- ・地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組 など

## 総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。

当メールマガジンで紹介させていただく記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



また、当メールマガジン以外でも、公共交通政策全般について、国民の皆様にも広く関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下のアドレスから配信のご登録をお願いします。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html)



### <送信先の変更申請について>

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎しております。変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp)

### 問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 麻生

TEL : 03-5253-8111（内線53-113） FAX : 03-5253-1675

E-mail : [hqt-soukou01@mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

※ 2019年2月28日より総合交通メールマガジンのメールアドレスが変わりました

